

乙訓圏域障がい者自立支援協議会
令和4年度 第1回人材確保・育成部会 会議録

日 時 令和4年6月23日(木) 10:00~11:35

場 所 乙訓総合庁舎 第2会議室

出席者 11名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、向日市社協障がい者地域生活支援センター、第2乙訓ひまわり園、障がい福祉センターあらぐさ、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(2)、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 3名

こらぼねっと相談支援センター、大山崎町社会福祉協議会、長岡京市商工会、

事務局 3名

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・人材確保・育成部会委員名簿
- ・令和3年度活動報告
- ・昨年度のチラシとインターンシップ計画
- ・新任職員連続講座(案)

会議概要

事務局から連絡

- 事務局
- ・時間となったので第1回人材確保・育成部会をはじめさせていただきます。
 - ・未だコロナ禍にあるので2週間前の開催通知のあと、感染者数の増加が見られれば、会議の2、3日前にオンライン開催への変更を事務局で判断しメールする。
 - ・ハイブリット開催の場合、声が聞こえにくくなるのでマイクを使用する。マイクの消毒にご協力願いたい。
 - ・会議前に健康チェック表に記入願いたい。事務局で2週間保管する。
 - ・傍聴は現状では制限していない。変更があればホームページに掲載する。
 - ・議事録は、事務局で発言要旨をまとめて作成し、委員へメールで送っている。間違い等あれば連絡願いたい。1週間待って変更がなければ発言者の名前は出さずにホームページに掲載する。

会議中は自由な発言ができるので活発に発言願いたい。

- ・今年度より、プロジェクトの進捗状況も簡単にホームページに掲載する。関心をもって頂くことで、閲覧が増えることを願っている。
- ・各部会、委員会で行われた勉強会等は協議会委員で共有したいので、YouTube の限定配信を活用したい。

自己紹介

1 部会長・副部会長の選出について

事務局 ・立候補される方、挙手してほしい。

- ・なければ、運営委員会で、部会長に乙訓ひまわり園の森井委員、副部会長に向日市社協の落合委員と基幹相談支援センターの中坊委員をお願いしたいとなったのだが、どうだろうか。

一同拍手

2 昨年度の振り返りと本年度の進め方について

部会長 ・初めて参加される委員もあるので経過の説明をしたい。

- ・資料「令和3年度活動計画」1から4を説明。

副部会長 ・コロナ禍であったため、圏域職員の交流が全くできなかったのが今年度は考えたい。

委員 ・窓口業務を基幹相談支援センターが担うことになったが、どういった業務をするのか。また、チラシに対して問い合わせがあったか。

事務局 ・窓口業務としては、チラシの更新や問い合わせへの対応、大学や専門校への配布など。

- ・昨年の問い合わせは1件だけ。改善方法を考える必要がある。

副部会長 ・乙福の相談支援課全体で担うことに今年度からなっている。

部会長 ・5 次年度の課題と方針について、説明。

- ・競合他社が協力して人材確保に取り組むことが学生や求職者にどのように映るのか。興味深い業界だと思っていただけだと思う。京都府の取組やインターンシップの方法も進化していて、体験型だけではなく課題達成型も始まっている。違う法人同士が連携している姿を学生に見せていく。広報強化にみなさんと取り組んでいきたい。

3 チラシの更新、インターンシップ計画について

部会長 ・チラシに対する問い合わせは各法人にはあっただろうか。他委員からはない。

- ・事業所職員からの意見、配布時の反応はどうだろうか。

委員 ・就職フェアのブースでは、来場者がチラシを受けとってくれたが、その後つながっていない。

委員 ・動画の視聴回数はどうか。そこでも反応は確認できると思う。

委員 ・施設への見学者に配布できると思う。施設紹介のツールにもなる。

委員 ・事務局に1件問い合わせがあったとのことだが、どういう方か。

事務局 ・軽度精神障がいのある方で相談支援専門員の資格を取ってから就職先を考えたいということ

だった。

・近隣の大学にチラシを持って行ったのが3月だったので遅かった。コロナ禍で実施できていない実習の相談や、生徒の中には保育より障がい福祉に向いている人もいるので紹介したいなど養成校からお話をいただいている。部会長とともに懇意にさせていただく教授もおられるのでつながりを深めていきたい。

委員 ・広報の方法がうまくできるとよい。配布先の母数を増やす。学校が増やせるといい。

部会長 ・就職フェアでもブースにはそれほど来ていないので50枚もまけていない。各法人で大学を訪問される時にはチラシをたずさえて引き続き宣伝していただきたい。

・市町で何か配布できるようなところはないだろうか。

委員 ・介護に興味がある方への研修などがあるので、そういった場でアピールできるとよい。

副部会長 ・社協ではヘルパー講座のような研修の年間スケジュールが出ているので結構配布できる。

委員 ・介護や福祉に興味がある方が集まるような事業があれば配布していきたい。

部会長 ・数多く配布したいが、印刷の予算がつかない。各事業所が印刷をしている現状だ。年間で何部必要なか集約して計画をたてたい。

事務局 ・今年度200部の予算がついている。

部会長 ・このチラシはホームページにアップされていないようなので、一般の方向けにわかりやすくあげていただきたい。

・チラシのアップデートは、9月25日(日)の京都府南部限定の就職フェアに間に合わせたい。

・更新作業を昨年度同様にチームで進めたい。昨年度は今西委員に代表をしていただいたが今年度は難しいそうだ。

事務局 ・昨年度の方と基幹相談支援センターから中坊委員、山田委員が入る。

・現在掲載されている事業所の他にどこに声をかけるか。

部会長 ・昨年度は試行だったので部会委員の法人の掲載となった。てくてくは就職フェアに毎回参加されているが。

委員 ・どういう選び方をするのか。乙訓圏域となると全部に声をかけなければ公平性に欠ける。

部会長 ・採用枠がなければ参加しても仕方がない。

事務局 ・若竹苑は総務課が一括して採用しているのでチラシの裏面への掲載はないが、表面での職員の紹介をしている。

委員 ・乙障協にとりまとめていただいてはどうか。

委員 ・乙訓マップの下に「インターンシップ体験できます」とあるので、実施予定のないところは参加しにくいのではないか。

委員 ・「インターンシップの体験ができるところもあるよ」にするか。

委員 ・問い合わせ先も基幹相談支援センターに変えた方がいい。

部会長 ・経団連がインターンシップの定義を発表していたので検討した方がいい。見学とするか。

・動画作成方法は、昨年宮川委員がまとめられたものを、そのまま活用させていただきたい。

・乙障協に依頼して、参画したい事業所を募って、ワーキングチームに入らせていただく。

・更新しながらも現行のものも活用させていただきたい。

事務局 ・9月の就職フェアにもっていくチラシは友愛印刷に発注する。

・できれば学生が夏休みに入るまでに配布したい。就職だけではなくアルバイトとしても視野に入れてもらい、繋がりを持てるといい。

部会長 ・印刷は各事業所でお世話になりつつ、市町で多数配布される時は一旦事務局で集約する。
・チラシについて他に意見などないだろうか。

委員 ・裏面のQRコードが魅力発信の動画だと思わなかった。ただホームページにつながるだけだと思
った。

事務局 ・表面の「スタッフ募集」の文字が小さく目に入りにくいと言われた。

委員 ・気軽に電話をしてもらうために意外性が大事だと思う。資格はいらない、短期アルバイトもあ
るなどが伝わればいいと思う。

部会長 ・そこで縁をつくれば就職につながる。そういった要素も必要かもしれない。

委員 ・スタッフ募集の印象が弱いと思う。

部会長 ・話をしながら手渡す場合はいいが、多くを配布する場合、何のチラシかがわかるようなもので
なければならない。ご意見を踏まえてワーキングチームで作業を進めたい。

4 新任職員連続講座（予定）

部会長 ・資料「令和4年度乙訓圏域新任職員連続講座」について説明。
・内容や形式についていかがだろうか。

委員 ・受講してみたい内容でいいと思う。特別支援教育については特に興味がある。

委員 ・受講予定人数のオンライン50名はどういった関係でこの人数になるのか。

事務局 ・理由はないが、Zoomは100名が上限なので、その半分以上が妥当と考えた。

部会長 ・当日そのまま録画をして、YouTubeで期間限定配信をする。

委員 ・コロナ禍で難しいかもしれないが、感想共有でもいいのでグループワークなどで顔見知りにな
れると心強いと思う。

副部会長 ・ハイブリットだとどうすればいいか難しい。

部会長 ・難しいと思うがトライしてみたい。

事務局 ・時間的な制限もあると思うので別に機会を設けることはできないか。

・終わったら参加者同士がしゃべりながら帰れるのではないかと思い、次の日に仕事がない金曜
日に設定している。去年は全部がオンラインだったので全くできなかった。つながりを作る場を
設定するより若い人は若い人同士で悩みが話し合えればいいのではないか。他の事業所の人と
席がとなりになるだけでもいい。きっかけづくりをしたい。

部会長 ・顔見知りをつくるまで自立支援協議会でお膳立てが必要だろうか。

副部会長 ・対面であれば問題ない。オンラインとなると仕掛けが必要だと思う。難しいと思うがきちつと
段取りをして名簿の共有ができればいいのではないか。がんばってグループ分けをして自己
紹介や感想共有、今後仕事についての話ができる機会を20分ぐらいとればいい。

部会長 ・3日間の日程のどこかで顔が見える関係性ができるように検討したい。

委員 ・特別支援教育について、市町によって違いがあるが、それをまとめて乙訓教育局が話をしてく
ださるのだろうか。

事務局 ・乙訓教育局が2市1町を管轄しているので、局として各市町の教育委員会に対してプランが

あると思う。支援学校だけでなく、通級教室などもあるのでどのような教育をしているのか話してもらおうように打ち合わせをしようと思っている。

- 部会長
- ・新任だけではなくベテランも知りたい内容なのでアーカイブを利用したい。
 - ・3日間の講座をこのような形で進めたいがいいだろうか。ご協力をお願いしたい。

5 人材育成に携わる職員の意見交換会について

部会長

- ・新任だけでなく指導するスタッフの意見交換会をしたいと今年度は考えている。それぞれの事業所からそういう立場の方に集まっていただいて、悩みや愚痴など意見交換したい。まずは場の設定が必要だ。日程だけ先におさえたい。参加しやすい時間帯などあるだろうか。

委員

- ・交代勤務なので限定できない。決めていただければ調整して担当者を参加させたい。

部会長

- ・場所はここで、日中の時間帯で実施したい。オンラインより対面の方に意義があると思う。11月18日金曜日午後で計画したい。内容は今後の部会で検討したい。

6 その他

委員

- ・インターンシップ計画についてはどうなっているか。

部会長

- ・昨年度の計画を資料で配付している。チラシをみて問い合わせがあった場合に答えられるように作成した一覧である。

事務局

- ・令和4年度版を用意しなければならない。

部会長

- ・チラシと合わせてこちらもアップデートしていきたい。
- ・質問等あるだろうか。なければ次第はこれで終了となる。

次回：8月25日（木）10:00～ 乙訓総合庁舎 第2会議室